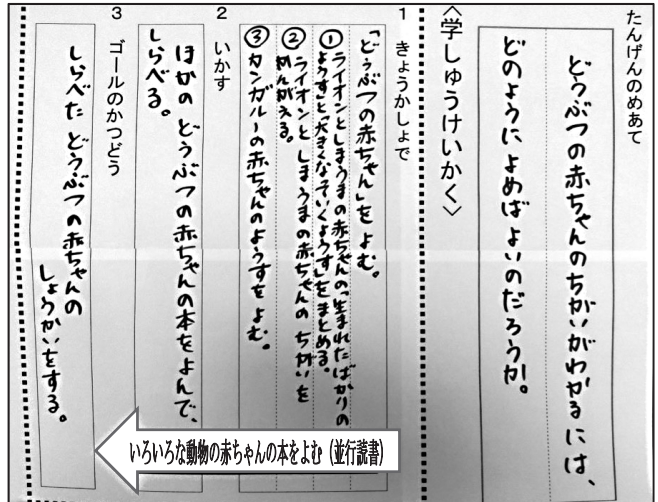


イ 思考を促すツール

(ア) 単元を見通す学習計画表

考えの共有を図るために、学習計画表(資料5)を作成し、単元を通して、常時、学習の目的を確認し、本時の学習が単元全体のどこの部分と関連があるか見通すことができるようにしている。

また、全員が見える場所に掲げるだけでなく、子供一人一人のノートにも貼らせている。



【資料5 第1学年 「どうぶつの赤ちゃん」の学習計画表】

(イ) 思考を可視化する全文掲載のワークシート

考えの共有を図るために、教材文全体を一枚の紙にまとめたワークシート(資料6)を活用し、互いの考えの理由が一目で確認できるようにしている。

活用させる際には、子供たちに留意点(資料7)を示し、線を引かせたり、印を付けさせたり、言葉を書かせたりして、思考の跡が可視化(資料8)できるようにする。また、段落番号や行番号を書き込んでおくことで、話し合いを効率的に行い、「考えの形成」や「考えの自覚化」の時間確保につなげている。

- 初めて知る言葉や事柄には、サイドラインを引いて辞典や図鑑などで調べる。
- 指示語や接続語を丸で囲んで、文章全体のつながりに気を付ける。
- 文章の中で繰り返し使われている言葉に印を付け、線で結んで関連付ける。
- 課題に対する理由に、波線を引く。

【資料7 思考を可視化するワークシートの使い方】



【資料6 第3学年「こまを楽しむ」のワークシート】



【資料8 思考の跡の様子】